



中里の家だより
第 24 号

発行年月日
平成 5 年 8 月 20 日

発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒 294-02
館山市中里 288-1
0470 (28) 2022

施設長挨拶

秋の気配が感じられる頃となりました。ますます御清栄のことと存じます。

中里の家も開設以来七年目となり、利用者・職員共々元気に明るく日々を過ごしております。

去る五月十六日に、第三回チャリティバザーを開催いたしました。安房郡市社協の御理解・御支援を得、また、地域の皆様の御芳志により多数の物品が寄せられ、当日は、ボランティア会・保護者会の御協力で盛大に行うことができました。感謝申し上げます。このバザーの浄財は、今後の施設整

備資金として活用させていただく所存です。

ところで、中里の家では、利用者の個性や特性に応じた処遇の展開をはかる為に、グループ別活動を進めてきましたが、本年は更に小グループでの活動に重点を置いていきます。

例えば、外出時など、居室単位や適性に応じた小人数の単位とし、また計画の段階で、利用者・職員間で話し合いを行い、目的を持った行動がとれるよう留意しています。回を重ねてくる中で、博物館や図書館の利用にも大分慣れが見ら

れ、社会性の向上を感じています。これまで、年間行事や近隣社寺の祭礼を通じて、地域の方々との交流を深めてきましたが、今後は、社寺や道路・海岸の清掃などの奉仕活動を行っていく中で、地域の一員としての役割を果たしていくよう努めていきたいと考えております。

現在、隣接地に新しい施設を建設する為準備を進めており、今年度は、用地の造成工事を行っております。

尚、新施設の概要等詳しい点につきましては、後日改めて御報告する機会を持ちたいと考えています。

何卒、一層の御理解・御支援の程よろしくお願いいたします。



全年行事
年間予定

8月 納涼会
家庭実習

10月 運動会
家庭実習

11月 一泊旅行
収穫祭

12月 クリスマス会
もちつき大会
家庭実習

1月 成人式
小塚大師初大師

2月 節分会
成田山

集計の結果、売上金・寄付金・募金合わせて「二、七七二、七九二円」となりました。このご芳志は地域の方々のやさしい気持と中里の家に対する期待の表われと受け止め、今後充分な検討を重ね利用者の社会自立としかあわせの為に活用させていただきたいと、職員一

同心を新たにしております。最後に今回バザーを開催するにあたり、多大な協力をくださった各市町村社会福祉協議会、ボランティア、保護者会の方々、そして物品の抛出や当日お買い上げいただいた多くの皆様に感謝いたします。

白百合合奏団との交流について

「おもちゃのチャチャチャ おもちゃのチャチャチャ チャチャチャおもちゃのチャチャチャ」どこからともなくカセットテープから流れ出てくる童謡・歌謡曲・演歌など中里の家の利用者はみなさん歌も踊りも大好きという人ばかりです。利用者ばかりではなく職員も一緒にになり、楽しんでいくようです。

そのような中、昨年の10月に、白百合幼稚園さんから中里の家にアコーディオン・大太鼓・鈴・カスタネット・マラカスなど、たくさんのおもちゃを寄贈していただきました。そこで登場したのが合奏クラブです。

合奏クラブは、毎週木曜日のク

ラブ活動の時間に、白百合幼稚園の園長さん・保母さんからの楽器指導を受けています。これまで練習してきた曲目は「おもちゃのチャチャチャ」「ジングルベル」「小さな世界」であり、利用者にとってはどれもが初めて楽器を使っている練習でした。楽器別のリズム練習を重ね、全体を合わせるまでマソソーマンで指導して下さり、利用者にとっては大変覚え易かったことだと思えます。また、クリスマス会まで「ジングルベル」を合奏出来るようにと、利用者全員で一つの目標に向かって練習する大きさも教えて頂きました。そして、

クリスマス会当日は、園長先生を始め、保母さんが大勢訪れ、美しい合奏を披露して下さいました。今までにない盛大なクリスマスを経験出来た利用者にとって、忘れられない思い出となることでしょう。

また、5月には白百合幼稚園でのバーベキューパーティーに利用者を招待して下さい、白百合合奏団との交流は、今も尚続いています。

新任職員紹介

指導職

山田 美恵子

この四月から中里の家に勤務させていただきます。山田と申します。

早いもので三カ月が過ぎました。ようやくこの仕事にも慣れ、やりがいを見出ししてきた今日この頃です。これも施設長さんはじめ諸先輩方のご指導のお陰と感謝しております。

年ばかりとっていてもまだまだ未熟な私ですが、今までの人生で

す。

園長先生・保母さんと一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏することを楽しみにしている利用者にとって、今までにない外部との接触、更に一般社会との交流の場が作られ、利用者・職員共に大変嬉しく思います。これからも長く交流を続け、白百合幼稚園の方々とのふれあいを大切に、明るく楽しく過ごしてゆきたいと思えます。

経験してきたことを仕事に生かしていければと考えております。そして入所者の親代りとして、常に適切な指導であるかと自分に問いかけながら仕事をしていきたいと思えます。これから色々なことがあるかと思いますが、毎日を楽しんで、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導の程お願いいたします。

指導職

福本 圭子

はじめまして。今春4月より、中里の家の指導員として働く事になりました。福本と申します。

私は、前からこの様な仕事に興味をもっていました。就職してから3カ月目に入りました。毎日覚える事ばかりです。(ほし、なるほど)などと、納得したり、(えー)などと、びっくりしたり、毎日、ドキドキしています。利用者の名前もだいたい覚ええました。しかし私の名前をなかなか覚えてくれないのでちょっと悲しいです。早く皆に覚えてほしいです。

さて、私は趣味などというものがなく、休みの日は家でゴロゴロとしています。何か一つ趣味をもとうと思っているのですが、何か良いものがありましたら、声をかけて下さい。よろしくお願いします。

指導職

小島由紀子

六月十日より勤務させていただいております小島由紀子(こばたゆきこ)です。鴨川市から通っています。

早一ヶ月が経とうとしています。しかし、新しい発見は続きます。まだまだ勉強するの必要を感じております。

このように力不足の私ですが、新しい職場となりました「中里の家」でも、精一杯努力していきたいと思っています。いろいろなと途惑い、悩むことに会います。が、職員の方々をはじめ、皆様の御指導をいただきながら、入所者の方々のよりよい生活の為にお手伝いできますよう祈っています。

どうぞよろしくお願いします。

指導職

家守裕典

今年の六月より、中里の家に勤務することになりました家守です。大学を卒業した後、袖ヶ浦福祉センターで十ヶ月ほど勤務してましたので、福祉の仕事はともやりのいのある仕事だと思っています。

中里の家での仕事が始まって三週間がたち仕事にもなれましたが私にとっては新しい発見の毎日です。利用者80名の顔と名前もだいたい覚え、私自身がやらなくてはいけな仕事も把握できたことは先輩職員の方々のお蔭だと思っています。

まだまだわからない事が沢山あ

りますが、頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

調理係

西藤博子

今迄お世話になって居りました西藤です。平成五年四月一日より職員として勤務出来る様になりました。此れも大先輩の御陰様と深く感謝致して居ります。今迄は、臨時要員として働かせて頂いて居りましたが、其の時色々わからぬ事など数多くありました。

難しい事など一つ一つ先輩より指導されて参りまして覚えて行く様になりました。でもこれからの皆さんの事を覚えさせて頂かなければなりません。一生懸命頑張っていきたいと思えます。

この度一日より正式に職員として務めさせて頂く様になった時には、私の存在を思いこの責任の重さを充分に知る事が出来ました。この喜びを忘れずにこれからも努力して私の係りの調理員としての任務を皆様に喜ばれる様に頑張っていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いします。

編集後記

平成五年、第二十四号を御届けいたします。

新しい年度がスタートし、中里の家も新人職員五名を迎えました。利用者・職員一同日々作業に訓練にと頑張っております。

そのような中で開かれたチャリティーバザーでは地域の方々の御協力を頂き大成功に終わりました。さらに白百合合奏団との暖かい交流など、大勢の人たちとの関わりが地域交流へとつながっていくことが、しみじみと感じられました。夏も終わり、海水浴で真っ黒に日焼けした利用者は、健康そのものです。これから、スポーツの秋とも言われるように、運動会に向けて中里ファミリーの一致団結が期待されます。

毎日「楽しく元気に」をモットーに、これからも頑張っていきたいと思っております。

「虹」を発行するにあたり御協力下さいました方々、有難うございました。